

ボランティア活動

5月31日に、能代西高校の1年生がプランター班とクリーンアップ班にわかれ、ボランティア活動を行いました。この取り組みは毎年行われており、活動を通して自分にできること、地域の活動への参加により、ボランティア精神の育成を図ることを目的としています。

このうち、プランター班は17人の生徒が芝童森の国道沿いに設置されているプランターの雑草取りと花植え、および周辺の清掃を実施しました。当日は陽ざしも強く、生徒達は汗をかきながらも一生懸命作業に励みました。植えられた花は元気に生長しており、小さな花を咲かせています。近くを通った際はぜひ、ご覧になってください。

また、クリーンアップ班は57人の生徒が3班にわかれ、向能代駅から西高校までゴミ拾いなどの清掃活動を行いました。この他にも、西高生徒は市内の駅舎等に花を置くなど環境美化活動に積極的に取り組んでおり、その環境美化や地域への貢献活動は高く評価されています。



←作業に励む生徒達



←植え方を学びます



←プランターに貼られています



←雑草取りもがんばりました



←現在は花が咲いています



←きれいなプランターが並びました

意見発表会に参加

→発表をする藤田さん



秋田県学校農業クラブ連盟が主催する、意見発表会が大曲農業高校で開かれ、能代西高からは生物資源系列2年の藤田龍矢さんが参加し、「能代西高校に入学して」と題した発表を行いました。

発表の中で藤田さんは、授業や農業クラブで行った野菜栽培について説明し「栽培は大変だが、その分収穫の喜びはとても大きい。農業を学ぶにつれ、その分野の広さに驚くと同時に深みや幅があることを実感している」と話しました。また、後継者不足や株の劣化が嘆かれている山うど栽培に興味があることに触れ「今後は優良苗の大量増殖に関する研究を行っていきたい」と今後の目標も話しました。